



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 岩崎通信機株式会社
 コード番号 6704 URL <https://www.iwatsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西戸 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 佐藤 修
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5370-5111

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,151	4.1	1,073		990		855	
2020年3月期第3四半期	14,758	8.2	599		542		570	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 809百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 531百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	86.21	
2020年3月期第3四半期	57.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,066	18,661	66.5
2020年3月期	28,944	19,465	67.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 18,661百万円 2020年3月期 19,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期の期末配当予想額については、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	1.8	200		100		0	100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	10,080,344 株	2020年3月期	10,080,344 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	157,033 株	2020年3月期	165,386 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	9,919,880 株	2020年3月期3Q	9,912,252 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
継続企業の前提に関する注記	7
株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
セグメント情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響が残るなか、段階的な経済活動の再開や政府、自治体の各種政策の効果により一部に持ち直しの動きも見られました。しかしながら、昨年末からの感染症の再拡大に伴い、経済活動への更なる影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ事業活動を展開してきましたが、コロナ禍における受注活動停滞への影響は避けられず、厳しい事業環境で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、14,151百万円で前年同期に比べ4.1%の減収となりました。利益面では売上高の減少に伴い、営業損失1,073百万円（前年同期599百万円の損失）、経常損失990百万円（前年同期542百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は855百万円（前年同期570百万円の損失）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、経常損失990百万円に対して親会社株主に帰属する四半期純損失が855百万円となった主な要因は、当第3四半期連結累計期間において新型コロナウイルス感染症の影響による雇用調整助成金等172百万円を補助金収入として特別利益に計上したことによるものです。

セグメントごとの状況を示すと、次のとおりです。

(情報通信事業)

情報通信事業においては、受注活動停滞の影響に加え、前年同期にあったコンタクトセンタソリューションの大型案件の剥落による売上高減少がありました。一方、受託生産売上が大幅に増加したことにより、事業全体の売上高は10,974百万円で前年同期に比べ2.7%の増収となりました。この結果、セグメント損益は売上高構成の変動による原価率の悪化と主力製品の後継機の開発による費用の増加により、238百万円の利益（前年同期624百万円の利益）となりました。

(印刷システム事業)

印刷システム事業においては、イベント等の中止、延期等、印刷市場が大きな影響を受けたこと、また、受注活動停滞の影響もあり、主に消耗品の売上高が減少し、事業全体の売上高は1,234百万円で前年同期に比べ26.0%の減収となりました。セグメント損益は売上高の減少に伴い、156百万円の損失（前年同期11百万円の利益）となりました。

(電子計測事業)

電子計測事業においては、企業の設備投資意欲が低下している影響に加え、国内外の受注活動停滞の影響や、前年同期には航空宇宙関連の大型案件があったことによる反動もあり、事業全体の売上高は1,634百万円で前年同期に比べ23.2%の減収となりました。セグメント損益は売上高の減少に伴い、160百万円の損失（前年同期141百万円の損失）となりました。

(不動産事業)

不動産事業においては、主に当社本社敷地内の保有資産の有効活用により、事業全体の売上高は308百万円で前年同期に比べ12.4%の増収となりました。セグメント損益は売上高の増加に伴い、122百万円の利益（前年同期68百万円の利益）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間においては、経済活動の再開に伴い徐々にではありますが景気が回復し、当社グループにおける受注状況も一部に持ち直しの動きもあり、売上高回復の兆しが見えました。しかしながら、現時点においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて当初見込んでいた案件の受注時期が遅れる等の影響が出ていること、また、昨年末からの感染拡大に伴う緊急事態宣言の再発令により、先行きの不透明感が更に高まっている状況です。

このような状況のなか、2021年3月期の連結業績予想につきましては、今後の動向を慎重に見極めたうえで、今後発生しうる追加的な事象を含めて現在精査中であり、2月末までに配当予想の修正とあわせて公表する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,116	7,562
受取手形及び売掛金	6,134	3,923
商品及び製品	1,739	2,031
仕掛品	652	966
原材料及び貯蔵品	1,865	2,604
その他	260	276
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	18,766	17,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,205	3,061
土地	3,722	3,716
その他(純額)	1,173	1,203
有形固定資産合計	8,101	7,982
無形固定資産		
ソフトウェア	720	1,226
その他	45	45
無形固定資産合計	766	1,272
投資その他の資産		
投資有価証券	918	1,021
その他	426	462
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	1,310	1,448
固定資産合計	10,177	10,702
資産合計	28,944	28,066

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,338	1,697
短期借入金	80	120
賞与引当金	568	268
製品保証引当金	79	54
その他	1,667	1,479
流動負債合計	3,734	3,620
固定負債		
繰延税金負債	1,181	1,197
株式給付引当金	54	55
退職給付に係る負債	4,069	4,100
その他	439	430
固定負債合計	5,744	5,784
負債合計	9,478	9,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,948	6,948
利益剰余金	6,543	5,688
自己株式	△153	△147
株主資本合計	19,363	18,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89	165
為替換算調整勘定	△149	△203
退職給付に係る調整累計額	161	185
その他の包括利益累計額合計	101	147
純資産合計	19,465	18,661
負債純資産合計	28,944	28,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	14,758	14,151
売上原価	9,567	9,441
売上総利益	5,190	4,710
販売費及び一般管理費	5,790	5,783
営業損失(△)	△599	△1,073
営業外収益		
受取利息	14	5
受取配当金	39	39
受取地代家賃	28	28
その他	31	36
営業外収益合計	114	110
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	7	5
為替差損	9	7
出資金運用損	2	8
その他	35	3
営業外費用合計	57	27
経常損失(△)	△542	△990
特別利益		
事業分離における移転利益	7	—
補助金収入	—	172
特別利益合計	7	172
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3
災害による損失	—	16
退職給付費用	20	—
特別損失合計	20	19
税金等調整前四半期純損失(△)	△555	△838
法人税、住民税及び事業税	30	28
法人税等調整額	△16	△11
法人税等合計	14	17
四半期純損失(△)	△570	△855
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△570	△855

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△570	△855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	75
為替換算調整勘定	△14	△54
退職給付に係る調整額	16	23
その他の包括利益合計	39	45
四半期包括利益	△531	△809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△531	△809

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上高						
外部顧客への売上高	10,689	1,667	2,127	274	—	14,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,689	1,667	2,127	274	—	14,758
セグメント利益又は損 失(△)	624	11	△141	68	△1,161	△599

(注) 1. セグメント損益の調整額△1,161百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,161百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報通信	印刷システム	電子計測	不動産		
売上高						
外部顧客への売上高	10,974	1,234	1,634	308	—	14,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,974	1,234	1,634	308	—	14,151
セグメント利益又は損 失(△)	238	△156	△160	122	△1,117	△1,073

(注) 1. セグメント損益の調整額△1,117百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,117百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。